

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	防災備蓄推進事業			事業番号	15-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部危機管理担当	大山 剛	危機管理課	大山 剛	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	4	災害に強い安全なまちづくり	
		施策展開の方向	7	災害から市民のいのちを守るまちをつくる	
		施策	15	いざという時の危機対応力の強化	
予算事業名	防災資機材等維持管理費 防災資機材等整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	義務づけ規定がある	
事業開始年度	開始年度	～	終了年度	-	
関連法令等	災害対策基本法				
国・県の計画等	防災基本計画、神奈川県地域防災計画		計画期間		
関連個別計画	伊勢原市地域防災計画		計画期間	昭和49年～(平成26年改定)	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	東日本大震災や熊本地震などを教訓に、甚大な災害が発生した場合の長期的な避難所運営や応急復旧活動等の確に対応するため、必要な水や食糧、防災資機材等の公的備蓄の充実・強化を図ります。				
目的 (何をどうしたいのか)	災害時に必要となる防災資機材などの備蓄を強化し、市中央部に大型の防災備蓄倉庫を整備します。また、家庭や企業備蓄の啓発を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民、本市への来訪者・買い物客等の帰宅困難者				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・首都直下地震に備え、食料・飲料水、生活必需物資の備蓄を進めます。 ・市中央部に大型防災備蓄倉庫を整備します。 ・防災教育や防災訓練等の機会を通じ、家庭及び企業備蓄の普及啓発を図ります。 				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	防災備蓄品、資機材の整備	新基準による整備	整備、要援護者向け備蓄の検討	整備、要援護者向け備蓄の検討	
	中央備蓄倉庫の整備	占用許可申請	設計・発注・整備	整備済	
家庭及び企業備蓄の普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	マンホールトイレの整備基数	48基 (平成29年度)	48基(0基)	66基(18基)	92基(26基)



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	これまでの備蓄品の在り方を再点検し、中長期的な整備計画を策定するとともに、限られた財源を効率的に執行するために定期的に更新すること。 また、時代に合った資機材の導入を検討すること。				
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施		<input type="checkbox"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目		年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	防災備蓄品、資機材の整備		新基準による整備	整備	避難所資機材の充実・強化
	中央備蓄倉庫の整備		占用許可申請	占用許可申請、設計・発注	整備済み
	家庭及び企業備蓄の普及啓発		普及啓発	普及啓発	-
実施した取組の内容	新東名高速道路の高架下に中央備蓄倉庫を整備するとともに、避難所用資機材の充実・強化を図りました。				
目標の達成状況	【指標名】		年度		
	【現状値】		平成30年度	令和元年度	令和2年度
マンホールトイレの整備基数		48基 (平成29年度)	48基	48基	90基

		年度		平成30年度 実績		令和元年度 実績		令和2年度 実績					
		年度	実績	実績	実績	実績	実績						
事業費合計 (a)			6,903	千円		30,585	千円		5,157	千円			
内訳	国県支出金 ①		540	千円		605	千円		331	千円			
	地方債 ②		0	千円		2,060	千円			千円			
	その他特財 ③		2,030	千円		0	千円			千円			
	一般財源 (a)-①-②-③		4,333	千円		27,920	千円		4,826	千円			
国県支出金の内容		神奈川県市町村地域防災力強化整備事業費補助金(補助率1/3)											
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前回の改定時期								
		その他											
人件費	正規職員	0.22	人	1,872	千円	0.22	人	1,914	千円	0.22	人	1,892	千円
	その他の職員	0.52	人	1,305	千円	0.52	人	1,378	千円	0.22	人	585	千円
	人件費合計 (b)	0.74	人	3,177	千円	0.74	人	3,292	千円	0.44	人	2,477	千円
トータルコスト (a)+(b)				10,080	千円			33,877	千円			7,634	千円
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位	市民		単位	市民		単位		
		対象数	102,416	人	102,248	人	102,046	人					
	総事業費 / 対象数	98	円	331	円	75	円						

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左判断理由	新東名高速道路高架下への中央備蓄倉庫新築工事は、令和2年度に完了しました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input checked="" type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	C	他都市の事業内容等	他市と比較して資機材、備蓄品の更なる充実が必要です。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左判断理由	災害対応の要となる資機材、備蓄品の充実は不可欠です。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左判断理由	更に計画的に公的備蓄の充実を図る必要があります。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	中央備蓄倉庫の整備に合わせて、救援物資の受援体制の構築を図ります。
令和3年度の取組方針	新型コロナウイルス感染症を意識した避難体制の充実に向けて、避難所用資機材の充実・強化を図るとともに、実践的な運営方法を確認します。
所管部長による総評	これまでの備蓄品の在り方を再点検し、中長期的な整備方針を策定するとともに、限られた財源を効率的に活用するため更新計画を定めるとともに、更に時代に合った資機材の導入を検討します。